支援だより

神奈川県立鶴見養護学校
地域連携グループ
支援係
2021 年 12 月 22 日発行

師走になりました。空気が澄んだこの時期は、鷹野大橋から丹沢の山も富士山もくっきり見えます。寒さに負けず元気いっぱいの子どもたちは、近隣校外歩行など積み重ねています。運動会・体育祭のほか、修学旅行も笑顔いっぱいで学校に戻り、今でも廊下に掲示している写真を指して、楽しかったことを教えてくれます。実りある 2 学期になったのではないかと思っています。

子どものやる気を引き出すには

「今日〇〇をやったんだけど、全然ダメだった」　「もうやりたくない」
「どうせ自分なんか・・」
このような言い方をしている場面にであったことがあります。こんな時、どのように声をかけますか？
「大丈夫」「次はできるよ！」「文句ばっかり言わない！」気持ちを切り替えさせようと、ついついこんな言い方をしてしまうかもしれません。マイナスのイメージをもってしまうような時に、いいイメージがもてるようにするには、どうすればいいでしょうか。

子どもに問いかけて、しっかり耳を傾けよう

『大人は子どもを伸ばそうと意気込むあまり、彼らの意見を聞く前に、こう思う、こうするべきだとあれこれ言ってしまいがちです。おそらくそのせいで、子どもが自分で能力を開発したり、自信をつけたりするのを妨いでしまっているのです』

これは「コーチング」に関する本に書かれていた内容です。ついつい気持ちを切り替えさせようと声をかけてしまいます。しかし、子どもの行動に口をはさみたいという気持ちを抑え、問い掛けることで、子どもの心には変化が生まれるそうです。

問いかけにより生まれる心の変化
- 聞いてもらっている、評価されていると感じて、心が満たされ、自立心をもつ。
- より深く自分を理解し、責任感をもち、自分の力を信じる心が生まれる。

大切なことは「うまくいかないと思っている気持ちを大事にすること」とありました。子どもの気持ちを受け止め、その状況に理解を示すことに意味があるそうです。そのためには大人がゆとりを持つことが必要です。忙しいと気持ちを受けとめる余裕がなくなります。ストレスが溜まっていないか、疲れすぎていないか、立ち止まって考えることも必要です。
「話を聞く」ということは、「あなたのことを尊重しているよ」というメッセージになるそうです。人とのコミュニケーションの基本ですね。大事にしたいです。

おすすめ支援グッズ

正しい鉛筆の持ち方はできていますか？正しく持てることで、うまく動かすことができ「とめ」「はね」「はらい」がうまく書ける。姿勢が良くなる。力のバランスがとれ、疲れないなどメリットがたくさんあります。

鉛筆の持ち方の矯正方法やグッズはたくさんありますが、本校にある支援グッズを紹介します。

Q ホルダー

スプーンやフォーク歯ブラシでもOK。手指機能の発達促進。手のひらに空間ができるので動かしやすいです。

Q リング

Q リングをつけると、自然とファーストウェブに鉛筆があたり、3 点固定が楽にできます。

右手用もちかたくん

握るだけで、筆記具を持つときの正しい角度（60 度）が覚えられます。

教えて！！
学校での取り組み！！

決められたテーマに合わせて、各学部での取り組みについてお知らせするコーナーです。

今年は２年ぶりに運動会・体育祭が行われました。まだまだコロナ禍ということで、全校一体での行事にはできませんでしたが、各学部で熱い競技・演技が行われました。今回は各学部で工夫した、運動会・体育祭の見どころを紹介したいと思います。

小学部

小学部の運動会は 11 月 10 日に低学年、11 月 12 日に高学年と２回に分かれて開催されました。昨年開催が見送られたこともあり、1～3 年の低学年にとっては、全員が初めての運動会になりました。学年ごと、運動で頑張ってきたことを中心に種目が行われました。ご家族の方々の大きな拍手や応援をいただいて、ドキドキしながらも一生懸命取り組んでいました。高学年は、4 年は紫、5 年は赤、6 年は紺色の自分たちで絞り染めをした T シャツを着てかっこよく登場！徒競走はこれまでと変えて曲線コースで走り、ゴールする姿は、まるでオリンピック！それぞれ特色ある学年種目も持ち味を生かして頑張りました。特に 6 年生は練習を続けてきたトラップ&シュートや G ボールダンスでノリノリに踊る姿を、皆に披露できました！！

中学部

中学部では各学年の個性あふれる学年種目が行われました。その中から、中学部最初で最後の運動会となった 3 年生の学年種目「山あり谷あり」を紹介します。「山あり谷あり」は３つの種目を乗り越えてゴールへ向かう競技です。まずは平均台、次にキャタピラ、最後にサッカーのシュートです。平均台とシュートは体育で 3 年間取り組んできました。1 年生の頃は平均台に乗るのを怖がっていた生徒や、ボールを蹴らずに手を使ってしまう生徒もいました。運動会本番では見事に全員が平均台を渡り、力強いシュートを決め、3 年間積み重ねた学習の成果を発揮することができました！

高等部

高等部は学年ごとの開催となりました。1 年生『タワーをつくろう』では段ボールを組み立ててクラスごとに高く積み上げました。当日は今までにない強風で、タワーが倒れるハプニングがありましたが、初めての体育祭、緊張しながらもがんばりました。2 年生『台風の目』ではペアになってバーを持ち全速力で走りました。お互いを気遣いながら練習の成果もあり、チーム力抜群の競技でした。3 年生は息の合ったうちわダンス、綱引き、リレーとたくさんの競技がありました。はちまきを巻いて頑張る姿はさすが最高学年でした。

分教室

すがすがしい秋晴れの下、体育祭が行われました。ラジオ体操から採点されていると聞いて、いつも以上にしっかりと身体を動かしていよいよ競技開始。まずはダンス「楽しめ！青春！44 人のスター★」。大きな声で自分たちを鼓舞した「学年対抗大縄跳び」では予行の順位を意識して、各学年猛特訓の成果を発揮しました。続く「学年対抗リレー」ではみんな力いっぱい走り、白熱した接戦を繰り広げました。フィナーレダンス「Mela！」では美術で作った傘を使って素敵な演技になりました。アンコールの「パーミッショントゥーダンス」では手話の部分を保護者も一緒に踊りました。今年度初めて保護者に披露することができ、みんないつもより張り切って、最高のパフォーマンスを見せることができました。